

平成24年国家試験受験対策 通信添削講座「測量法規等No.1～多角測量No.4」解説書 正誤表

頁	正	誤
測量法規等 No.2 共通 P.8 問 B 下から 2 行目	4. 市が実施し、25,000 分の 1 は・・・なので、「公共測量」である。(3 の引用条文参照)。よって、4 は正しい。	4. 市が実施し、25,000 分の 1 は・・・なので、「公共測量」である。(3 の引用条文参照)。
測量法規等 No.3 共通 P.2 問 B 下から 7 行目 ～次頁 14 行目 数字の表記	一 二 三 1 2	[一] [二] [三] [1] [2]

平成24年国家試験受験対策 通信添削講座「多角測量No.5～No.8」解説書 正誤表

頁	正	誤
多角測量 No.7 共通 P.8 問 B 下から 2 行目	(マダ) 4. 市が実施し, 25,000 分の 1 は・・・なので, 「公共測量」 であ る。(3 の引用条文参照)。よって, 4 は正しい。	4. 市が実施し, 25,000 分の 1 は・・・なので, 「公共測量」 であ る。(3 の引用条文参照)。

平成24年国家試験受験対策 通信添削講座「水準測量No.9～No.12」解説書 正誤表

頁	正	誤
水準測量 No.10 測量士 P.14 問 D 下から 4 行目～	① $\Delta C = \{(-20) \times 10^{-6} + \dots \times 10^{-6}\} \times (-23.7935) = +0.0005\text{m}$ $-23.7935 + 0.0005 = -23.7930\text{m}$ ② $\Delta C = \{(-20) \times 10^{-6} + \dots \times 10^{-6}\} \times (+64.8405) = +0.0011\text{m}$	① $\Delta C = \{(-20) \times 10^{-6} + \dots \times 10^{-6}\} \times (-23.7935) = +0.0005\text{m}$ $-23.7935 + 0.0005 = -23.7930\text{m}$ ② $\Delta C = \{(-20) \times 10^{-6} + \dots \times 10^{-6}\} \times (+64.8405) = +0.0011\text{m}$
水準測量 No.10 測量士補 P.17 問 D 下から 1 行目	したがって、正解は 3. である。	したがって、正解は 4. である。
水準測量 No.11 測量士 P.7 問 D 下から 5 行目	$A = \begin{vmatrix} 1 & 0 \\ -1 & 1 \\ 0 & -1 \end{vmatrix} \quad L = \begin{vmatrix} 40.0000 \\ 1.0100 \\ -41.0000 \end{vmatrix} \quad P = \begin{vmatrix} 1.38889 & 0 & 0 \\ 0 & 0.25 & 0 \\ 0 & 0 & 0.92593 \end{vmatrix}$	$A = \begin{vmatrix} 1 & 0 \\ -1 & 1 \\ 0 & -1 \end{vmatrix} \quad L = \begin{vmatrix} 40.0000 \\ 1.0100 \\ -40.0000 \end{vmatrix} \quad P = \begin{vmatrix} 1.38889 & 0 & 0 \\ 0 & 0.25 & 0 \\ 0 & 0 & 0.92593 \end{vmatrix}$
水準測量 No.11 測量士 P.7 問 D 下から 4 行目	3. この観測方程式の・・・解は、 $X = (A'PA)^{-1}A'PL$ ・・・	3. この観測方程式の・・・解は、 $X = (A'PA) - 1A'PL$ ・・・
水準測量 No.11 測量士補 P.10 問 D 下から 2 行目	①, ②の往方向の値は とりあえず 良好と考えられる。 まず , ①と・・・	①, ②の往方向の値は 取あえず 良好と考えられる。 まづ , ①と・・・

平成24年国家試験受験対策 通信添削講座「必須問題No.1、選択問題No.2」解説書 正誤表

頁	正	誤
選択問題 No.2 P.6 問 A 下から 8 行目	は 7 点であるから，必要な既知点 数 は 2+・・・	は 7 点であるから，必要な既知点 崙 は 2+・・・
選択問題 No.2 P.6 問 A 下から 2 行目	確保できる・・・。1, 2, 6, 5 の交点以外 の 辺はすべて・・・	確保できる・・・。1, 2, 6, 5 の交点以外 は 辺はすべて・・・
選択問題 No.2 P.8 問 C 下から 4 行目	3. 衛星の数 は？	3. 正しい。

平成24年国家試験受験対策 通信添削講座「地形測量No.13～No.16」解説書 正誤表

頁	正	誤
地形測量 No.16 共通 P.12 問 B 下から 9 行目	題意に戻って解説より, ア=芯線化, イ=ラスタ・ベクタ変換・・・	題意に戻って解説より, ア=細線化, イ=ラスタ・ベクタ変換・・・

平成24年国家試験受験対策 通信添削講座「写真測量No.17～No.20」解説書 正誤表

頁	正	誤
写真測量 No.19 測量士 P.4 問 D 下から 6 行目	空中写真撮影の場合は，準則第 121 条 1 項 第三号 に，・・・	空中写真撮影の場合は，準則第 121 条 1 項の三に，・・・
写真測量 No.19 測量士 P.4 問 D 下から 2 行目	を実施したものを・・・有効期間は 6 ヶ月とする。 ただし ，	を実施したものを・・・有効期間は 6 ヶ月とする。但し，
写真測量 No.20 測量士 P.12 問 C 上から 14 行目	以上より，間違っているのは d. と e. の 2 つである。	以上より，間違っているのは a. と e. の 2 つである。

平成24年国家試験受験対策 通信添削講座「地図編集No.21～No.24」解説書 正誤表

： 1/30追加

頁	正	誤
地図編集 No.22 測量士 P.5 問 C 上から 14 行目	したがって、ア： g. ，イ： a. ，ウ： b. ，エ： c. ，オ： e. ・・・	したがって、ア：経緯線網，イ：平面上，ウ：正角，エ：正積，オ：正角図法・・・
地図編集 No.23 測量補士 P.4 問 D 下から 5 行目	池の面積 $250\text{m} \times 125\text{m} = 31250\text{m}^2$ $31250\text{m} \div 2 = 12625\text{m}^2$	池の面積 $250\text{m} \times 125\text{m} = 31250\text{m}^2$ $31250\text{m} \div 2 = 12625\text{m}^2$
地図編集 No.23 共通 P.6 問 B 上から 1 行目～	イ：品質 を オ：評価 したりするために使われる。 したがって、ア：応用スキーマ，イ：品質，ウ：インターネット， エ：所在， オ：評価	オ：品質 を カ：評価 したりするために使われる。 したがって、ア：応用スキーマ，イ：品質，ウ：インターネット，エ： 所在， オ：品質 ， カ：評価
地図編集 No.24 測量士 P.6 問 C 下から 13 行目	は，無形線を ウ：転位 する。	は，無形線を カ：転位 する。

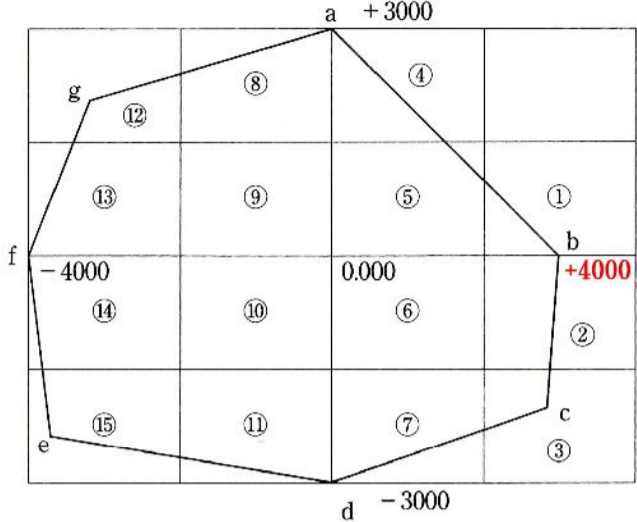
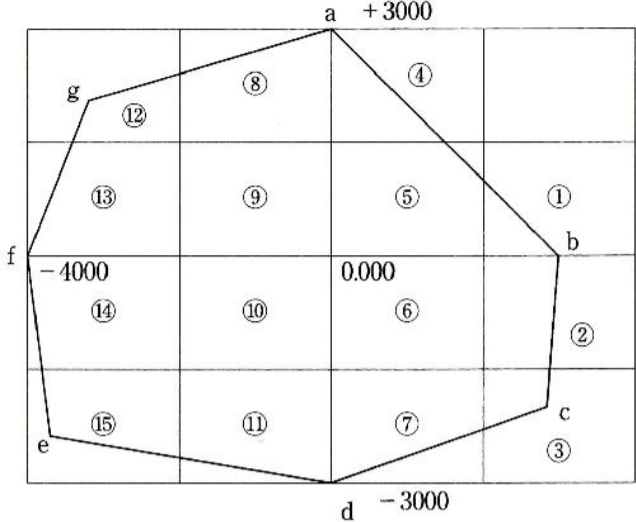
平成24年国家試験受験対策 通信添削講座「応用測量No.25～No.28」解説書 正誤表

： 1/4追加

頁	正	誤																						
応用測量 No.25 共通 P.3 問 B 上から 4 行目	図 25-1 において始短弦を・・・, 中心杭間の弧長を・・・	図 25-1 において始短弦を・・・, 中心くい間の弧長を・・・																						
応用測量 No.26 測量士 P.17 問 D 上から 9 行目	同条第 4 項に「観測の基準とする点は、・・・	「観測の基準とする点は、・・・																						
応用測量 No.26 測量士補 P.18 問 C 上から 10 行目～	<p>エ 主要点 に基づき オ 放射法等 により行う・・・視通がとれない場合は節点を設けることができる。 点検測量は、隣接する中心点等の カ 点間距離 を測定し・・・距離と キ 測定値 との比較により行う。</p> <p>以上から、解答は</p> <table border="1"> <tr> <td>ア</td> <td>・・・</td> <td>エ</td> <td>オ</td> <td>カ</td> <td>キ</td> </tr> <tr> <td>中心点</td> <td>・・・</td> <td>主要点</td> <td>放射法等</td> <td>点間距離</td> <td>測定値</td> </tr> </table> <p>となる。</p>	ア	・・・	エ	オ	カ	キ	中心点	・・・	主要点	放射法等	点間距離	測定値	<p>エ 主要点 に基づき ウ 放射法等 により行う・・・視通がとれない場合は節点を設けることができる。 点検測量は、隣接する中心点等の オ 点間距離 を測定し・・・距離と カ 測定値 との比較により行う。</p> <p>以上から、解答は</p> <table border="1"> <tr> <td>ア</td> <td>・・・</td> <td>エ</td> <td>オ</td> <td>カ</td> </tr> <tr> <td>中心点</td> <td>・・・</td> <td>主要点</td> <td>点間距離</td> <td>測定値</td> </tr> </table> <p>となる。</p>	ア	・・・	エ	オ	カ	中心点	・・・	主要点	点間距離	測定値
ア	・・・	エ	オ	カ	キ																			
中心点	・・・	主要点	放射法等	点間距離	測定値																			
ア	・・・	エ	オ	カ																				
中心点	・・・	主要点	点間距離	測定値																				
応用測量 No.27 測量士 P.4 問 C 下から 10 行目～	$A_{34} = \{(0.73 + 1.45) / 2\} \times 5 = 5.45\text{m}^2$ (測線 3, 4 の断面積) $A_{45} = \{(1.45 + 1.71) / 2\} \times 5 = 7.9\text{m}^2$ (測線 4, 5 の断面積)	$A_{34} = \{(0.73 + 1.45) / 2\} \times 5 = 5.45\text{m}^2$ (測線 3, 4 の断面積) $A_{45} = \{(1.45 + 1.71) / 2\} \times 5 = 7.9\text{m}^2$ (測線 4, 5 の断面積)																						
応用測量 No.27 測量士 P.5 問 D 下から 10 行目	水位変化量 = $-0.15\text{m} - (-0.20\text{m}) = 0.05\text{m}$	水位変化量 = $-0.15\text{m} - (-0.02\text{m}) = 0.05\text{m}$																						
応用測量 No.27 測量士補 P.7 問 C 上から 1 行目(追加)	<p>したがって、ア：河心線、イ：距離標、ウ：標高、エ：水際杭、オ：深淺測量が入る。 以上から、正解は 2. である。</p>	以上から、正解は 2. である。																						
応用測量 No.27 測量士補 P.7～8 問 D 下から 4 行目～	$a_1 = 1/2(2.5 \times 1.0) = 1.25\text{m}^2$ $a_2 = \dots$ $a_3 = \dots$ $a_4 = \dots$ $a_5 = 1/2(2.0 + 1.5) \times 2.5 = 4.375\text{m}^2$ $a_6 = 1/2(1.5 \times 2.5) = 1.875\text{m}^2$	$a_1 = 1/2(2.5 + 1.0) = 1.25\text{m}^2$ $a_2 = \dots$ $a_3 = \dots$ $a_4 = \dots$ $a_5 = 1/2(2.0 + 1.5) \times 2.5 = 4.374\text{m}^2$ $a_6 = 1/2(1.5 + 2.5) = 1.875\text{m}^2$																						
応用測量 No.28 共通 P.11 問 B 上から 13 行目	DE 間の距離 (S) = $\sqrt{5^2 + 62.2^2} = 62.4\text{m}$	DE 間の距離 (S) = $\sqrt{5 + 62.2} = 62.4\text{m}$																						
応用測量 No.28 測量士 P.13 問 D 上から 10 行目	出題図 28-3 において、境界線 ABC・・・	図 28-3 において、境界線 ABC・・・																						

平成24年国家試験受験対策 通信添削講座 「選択問題No.3~No.5」解説書 正誤表

： 1/4追加

頁	正	誤
<p>選択問題 No.4 P.15 問 B 図 4-1</p>		
<p>選択問題 No.4 P.17 問 C 下から 5 行目</p>	<p>$53 - 30 - 1 = 22 \dots 132 + 3 = 135$ 中央経線は 135° である。 (下線部にスペース挿入)</p>	<p>$53 - 30 - 1 = 22 \dots 132 + 3 = 135$ 中央経線は 135° である。</p>
<p>選択問題 No.4 P.18 問 C 上から 7 行目</p>	<p>そして中央経線に近い・・・経線が短い (図 4-3)。</p>	<p>そして中央経線に近い・・・経線が短い (図 4-2)。</p>
<p>選択問題 No.4 P.18 問 C 上から 9~10 行目</p>	<p>1. の解答 図名「半田」の東端 2. の解答 図名「水口」の西端</p>	<p>1. の解答 図名「半田」東端 2. の解答 図名「水口」西端</p>
<p>選択問題 No.5 P.23 問 A-2 下から 10 行目</p>	<p>$a = \frac{6.16 \times 10 - 5 \times 10.29}{10^2 - 5 \times 30} = 0.203 = \frac{203}{1000}$</p>	<p>$a = \frac{6.16 \times 10 - 5 \times 10.29}{10^2 - 5 \times 30} = \frac{203}{1000}$</p>